

ふるぎふちのそをかいかなた
JFSA

中たかたくらしをささむる
せかいのきよさをかんかえろ

NPO法人JFSA

日本ファイバースイクル
連帯協議会



千葉市中央区都町3-14-10

TEL/FAX 043-234-1206

E-mail jfsa@f3.dion.ne.jp

URL https://jfsa.jpn.org

スラムに暮らす子どもたちの自立を支援する

衣類・毛布・バッグなどの 回収のお知らせ

パルシステム千葉 組合員のみなさまへ

ご家庭に使わなくなった衣類や毛布、バッグなどはごさいませんか？

NPO法人JFSAは、パキスタンのスラムにある学校「アル・カイルアカデミー」の運営を支えるため、衣類・毛布・バッグなどのリユース事業をパキスタンの人々と協力して行なっています。

どうぞJFSAの衣類回収にご参加ください *参加方法、詳細は裏面をごらんください。

期間：10月1日（日）～11月30日（木）

*前回の回収(6/1～7/31)では、443名のパルシステム千葉の組合員の方にご参加いただき、3911キロの衣類や毛布、バッグなどが寄せられました。たくさんの皆さまのご協力ありがとうございました。

*次回は、2024年2/1～3/31を予定しています。

◆◆JFSAの活動・古着のゆくえ◆◆

私たちJFSAは、スラム地域に暮らす子どもたちの自立を支えるため、パキスタンの人々と協力しながら、衣類などのリユース事業を行なっています。JFSAが輸出した衣類や毛布、バッグなどは海外で販売し、得た利益はスラム地域にある学校『アル・カイルアカデミー』の運営費として使われます（先生のお給料、子どもたちの教材費など）。

1987年に10人の子どもと1人の先生から始まったアル・カイルアカデミーは、現在カラチ市内（パキスタン最大の都市）に本校と5つの分校と3つの女性技術センター、カレッジがあります。全生徒数は約4600人です。210人いる先生のうち、42名が学校の卒業生です。学校で学んだ子どもが親になり、自分の子どもを通わせている家庭も増えています。

アル・カイルアカデミーでは、働きながらでも学校に通えるよう、本校では午前と午後の二部制、分校とカレッジでは午前中のみ授業を行なっています。

～衣類等の輸出先の変更と現状、そして今後～

【経緯】
JFSAはアル・カイルアカデミーの運営を支えるため、皆様から寄せられた衣類等のうち約80%をパキスタンへ輸出し、現地の事業グループが販売した収益を学校の運営費としてきました。輸出したコンテナは19996（2022年の26年間で合計79回を数えます）。

しかし以下の状況を踏まえ、PJカンパニーと相談の上で今年2月の第80回コンテナの輸出先をタイへ変更することを決定し、以降4月に第81回、8月には第82回、合計3回タイへ輸出しました。

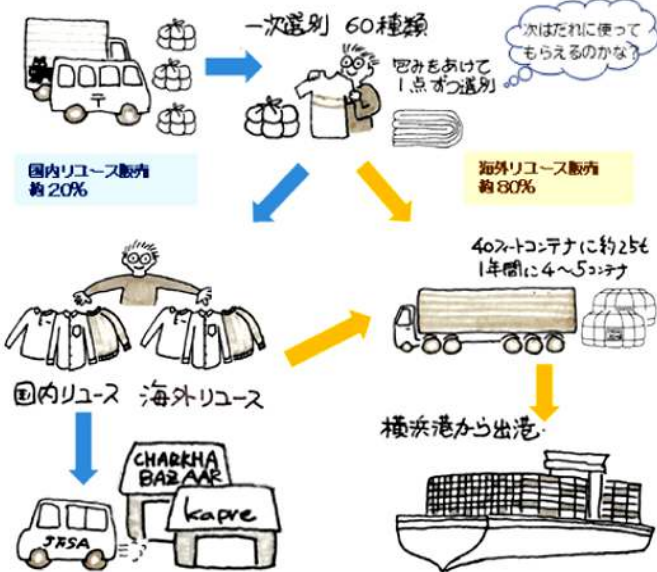
①パキスタンでは女性物衣類等の価格が低い当初からの課題
②海上運賃の上昇(コロナ禍で発生し現在は落ち着いてきているものの、以前よりは高い)
③2023年1月、パキスタン政府による輸入関税の大幅な引き上げと、輸入制限外貨準備高不足の影響

【現状と今後】
輸出先はタイへ変更しましたが、販売利益からアル・カイルアカデミーの支援を継続します。

JFSAはコンテナ到着に合わせて、3月、5月に事務局職員をタイへ派遣しました。タイはパキスタンに比べ輸入関税が高い一方、海上運賃は低いです。また実際の販売活動を通して現地の需要や価格も更に明らかになってきました。カンボジア、マレーシア、ミャンマー等との国境付近には中古品市場が多数存在しています。現地でPJカンパニーのカユーム氏、提携業者のアリ氏と協力してマーケティングを継続し、更に販売する力をつけたいです。

一方、パキスタンへの輸出再開の可能性が高まっています。当面は両国の需要に合わせた輸出販売事業の展開を目指したいと考えています。

④タイにも古着の国際マーケットが存在している



JFSA古着ショップ(千葉市・柏市)やフリーマーケット、イベントで販売し、収益はJFSAの活動費になります。

パキスタンの事業グループ(PJカンパニー)が輸出先にて販売し、収益はアル・カイルアカデミーの運営費になります。



↑タイの古着マーケットの様子
店舗型、フリマ形式など様々な形態があり、日本の古着も多く売られている。

←タイでの荷下ろしのようす(81回コンテナ)
左がPJカンパニー代表カユーム氏